２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーションⅠ （Global Communivcation I）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC国際教育センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

個人的な情報について尋ねる、また述べることができる。個人的な経歴等のプロフィールを読む、また書くことができる。
友達や家族について表現することができる。友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとることができる。
家や家具について話すことができる。ホームシェアについてのメールを読む、書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について質問をしたり、答えることができるようになる。
会話相手がゆっくりはっきりと話し、サポートがある場合、簡単なやり取りをすることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	Be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ。出身地をたずねる表現を学ぶ。
2回目	/i/ と /I/の発音を学ぶ。ホテルチェックインに使う表現を学ぶ。
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」
4回目	[Is / Are]の否定形を学ぶ友達や家族について話す。
5回目	友達の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとる。場所に関する前置詞を学ぶ。
6回目	所有形容詞（'s & s'）を学ぶ。家について話す。
7回目	飲み物・スナックをお勧めする/もらう表現を学ぶ分からない単語について質問する。
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「新居の家具を選ぶ」。
9回目	「現在形」疑問文を学ぶ (I, you, we)。技術の使い方を説明する。
10回目	商品のレビューを読む、書く。
11回目	「現在形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ (he, she they)。平日、週末のアクティビティについて話す。
12回目	頻度副詞を使い、質問に短く答える賛成を表す表現を学ぶ。共通点を表す表現を学ぶ。
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」
14回目	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ。近所にある自然について話す。
15回目	場所についての特徴について読む、書く。
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験:50% 授業態度:50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーションⅠ （Global Communivcation I）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC国際教育センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

自宅での生活について話すことができる。ブログ記事を読み、書くことができる。
自身のスキルや能力について話すことができる。自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。
旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について質問をしたり、答えることができるようになる。
会話相手がゆっくりはっきりと話し、サポートがある場合、簡単なやり取りをすることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	「現在進行形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ。自宅周辺の生活について話す。
2回目	[-ing]の発音を学ぶ。電話でニュースを伝える。
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について話す」
4回目	[Can / Can't]（可能性）を使う陳述文・疑問文を学ぶ。職場・学校において、できること・できないことについて話す。
5回目	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書く。
6回目	[This / These]の使い方を学ぶ。休暇、旅行について話す。
7回目	お店で情報を確認する。もう一回言ってもらえる表現を学ぶ。
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」
9回目	[be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ。旅行の時に着る服装について話す。
10回目	オンラインでの招待状を読む、書く。
11回目	「過去形」（was / were)の陳述文を学ぶ。過去にあった人、ことについて話す。
12回目	次の発言を考えるときに使う代用語を学ぶ。映画、俳優について話す。
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「子どもの頃から見ているTV番組について発表する」
14回目	「過去形」の疑問文を練習する。レストランでの食事について話す。
15回目	レストランのレビューを読む、書く。
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験:50% 授業態度:50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅠ (Career Planning I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 2時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、
チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。
進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。
各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。

【到達目標】

卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。
チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことが出来る。
社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現のための目標設定をし実践できる。

授業計画・内容	
1回目	新入生オリエンの振り返り、前期オリエンテーション(4年間の流れと1年次キャリアプランニングの理解)、校内見学
2回目	1週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、校外散策
3回目	2週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、GWの過ごし方について
4回目	GWの振り返り、生活習慣について
5回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)、中間試験について(単位、GPA、奨学金)
6回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)
7回目	学園祭準備
8回目	中間試験の振り返り、学園祭準備
9回目	学園祭の振り返りとまとめ、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	9週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
11回目	10週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
12回目	期末試験・補講・追再試について(試験規定、進級に向けての必要単位数など便覧記載内容の確認と理解)、夏休みの過ごし方について
13回目	夏休みの振り返り、海外プログラムについて
14回目	海外プログラムについて
15回目	期末試験の振り返り、前期の振り返り、後期授業について理解する
準備学習 時間外学習	特別講義に参加する。 事前課題や各種レポートを書くこと。
評価方法	クラス(集団)への参加度や理解度・・・80% 事前課題などの各種レポートの提出と記入内容…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life style
オリジナル資料
学生便覧

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅠ (Career Planning I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 2時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、
チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。
進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。
各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。

【到達目標】

卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。
チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことが出来る。
社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現のための目標設定をし実践できる。

授業計画・内容	
1回目	後期オリエンテーション(4年間の流れと1年次キャリアプランニングの理解)、後期授業について理解する
2回目	1週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
4回目	進級課題制作:　テーマ設定、チーム決め、内容決め
5回目	進級課題制作:　テーマ決定、制作、中間試験について
6回目	進級課題制作:　制作
7回目	進級課題制作:　制作
8回目	中間試験の振り返り、進級課題制作:　制作
9回目	進級課題制作:　制作、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	9週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、イベント運営:　We are ECO 進級制作展準備
11回目	10週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、イベント運営:　We are ECO 進級制作展準備
12回目	期末試験・補講・追再試について(試験規定、進級に向けての必要単位数など便覧記載内容の確認と理解)、冬休みの過ごし方について
13回目	イベント運営:　We are ECO 進級制作展準備
14回目	イベント運営:　We are ECO 進級制作展準備
15回目	期末試験の振り返り、後期の振り返り、次年度カリキュラムについて理解する、イベント運営:　We are ECO 進級制作展準備
準備学習 時間外学習	特別講義に参加する。 事前課題や各種レポートを書くこと。
評価方法	クラス(集団)への参加度や理解度・・・80% 事前課題などの各種レポートの提出と記入内容…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life style
オリジナル資料
学生便覧

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ホスピタリティⅠ（Hospitality Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 5時限

【授業の学習内容】

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学ぶ。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指す。

※担当教員実務経験：藤田観光株式会社ワシントンホテル　宿泊部フロント課勤務。
2017年3月　日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得する。
②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明　感動を与えるホスピタリティ（京王プラザホテルのホスピタリティ動画視聴）
2回目	サービスとホスピタリティの違いと語源　日本のおもてなし文化
3回目	5つ星ホテルで働くコンシェルジュの最上級のおもてなし、顧客目線に立つことの理解
4回目	ホスピタリティの実践①　笑顔の作り方、身だしなみ、立ち居振る舞いを身につける
5回目	ホスピタリティの実践②　話し方、効果的な傾聴、言葉遣いなど対応力を磨く
6回目	顧客ロイヤルティとホスピタリティの関係性
7回目	組織と社員（従業員）のホスピタリティ、「ゴールデンサークル理論」から学ぶリーダーシップ
8回目	ご高齢や障がいのある方への対応と気遣い
9回目	異文化コミュニケーション　「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションを理解し異文化適応力を身につける
10回目	クレームが起きる原因とお客様心理を理解し対応力を身につける
11回目	★レポート提出日　　ホスピタリティ産業に求められるQSCを理解する
12回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解する
13回目	SDGsについて理解する
14回目	クループディスカッション　：「新しいテーマパークを作ろう」
15回目	前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身についてくる。 また、ホスピタリティに関する書籍を自ら進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨く。 授業前後での予習と復習を必ず行うこと（ホスピタリティ・コーディネータ教本の熟読）。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」（2,000字以上/Word作成）・・・・締め切り厳守。 ※資格認定と授業評価に必要なレポートですので、必ず提出してください。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式など細かいルールがあります。講義の中で丁寧に説明しますのでルールは必ず守ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光　著

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ホスピタリティⅠ （Hospitality Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡　尚美
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 5時限

【授業の学習内容】

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、前期に習得したことを踏まえ、ビジネスシーンで柔軟に対応できる思考と動きプラス、ホスピタリティ・マインドを実践形式で理解を深めていき、「わかる」から「できる」ようになる。

※担当教員実務経験：藤田観光株式会社ワシントンホテル　宿泊部フロント課勤務。
2017年3月　日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

ワンランク上のホスピタリティ・マインドを習得し、現場の即戦力になる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明　前期講義を振り返り、ホスピタリティの本質を理解する
2回目	ホスピタリティの実践に必要な3つのステップ
3回目	笑顔トレーニング
4回目	ホスピタリティを実践している人・企業①
5回目	ホスピタリティを実践している人・企業②
6回目	感動品質のサービス①　顧客満足度向上
7回目	感動品質のサービス②　サービスのプロフェッショナル
8回目	感動品質のサービス③　会話をする力をつける
9回目	様々なクレームを想定し、ホスピタリティ・マインドを発揮する（グループワーク）①
10回目	様々なクレームを想定し、ホスピタリティ・マインドを発揮する（グループワーク）②
11回目	日本の贈り物のマナー
12回目	心をつかむ手紙の書き方
13回目	ホスピタリティ・マインドの育て方
14回目	評価週
15回目	後期講義のまとめ　社会人に向けて実践していくこと
準備学習 時間外学習	インプット（知識の習得）からアウトプット（考えて実践）へ。 求められているスキルが変化しているので、「自分を変えるチャンス」だと思って常に高い意識を持つこと。
評価方法	筆記試験・・・100%

【使用教科書・教材・参考書】

【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書／林田正光　著
グローバル人材ビジネス実務検定テキスト／一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アグリテックⅠ （Agritech Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	(株)マイファーム　八兒　美恵子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

座学では、農業の歴史と今、農業と自然観光、様々な農法、農薬と無農薬のメリットデメリット、世界の農業や未来の農業、野菜や果物の同定と育て方、害獣・害虫・益虫についてなど農業に関わる分野を幅広く学ぶ。演習では、屋上菜園を利用した有機農法（飼育動物のフンを使用し、土づくりから収穫まで）や最先端農業（ITやクラウド、水耕栽培など）について学ぶ。

※担当教員実務経験：福岡県飯塚市で有機農家として就農。アイガモ農法での稲作の経験有。生き物を大切にする農業を心がけ、農薬や化学肥料を一切使わない農業を行う。株式会社マイファームの技術講師として、糟屋郡新宮町で有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。

【到達目標】

農業に対する幅広い知識と視野を持ち、これからの農業と自然環境について自らの考えを持つことが出来るようになる。
屋上菜園において、有機農法で野菜や果樹の栽培・管理方法を理解し自らも行うことが出来るようになる。
化学農薬を使わず無農薬で栽培するために益虫や害虫の作用を理解する。

授業計画・内容	
1回目	農業の歴史・現代の農業・未来の農業について　【演習】春野菜の収穫・屋上ビオトープ観察
2回目	農と自然環境：農業と生態学・ビオトープ　【演習】屋上菜園管理・夏野菜の準備
3回目	農と自然環境：都市農業・大規模農業・中山間地農業について　【演習】堆肥・ぼかし作り
4回目	様々な農法について：慣行・特別栽培・有機・その他自然農法など　【演習】ビオトープ生態観察・夏野菜の定植
5回目	農薬について：化学農薬・化学肥料のメリットデメリット　【演習】害虫の防除方法について・コンパニオンプランツ・バンカープランツの播種
6回目	栽培方法：葉菜類・果菜類・根菜類　【演習】田植え・ジャガイモの収穫
7回目	中間テスト　【演習】サツマイモの定植
8回目	栽培方法：稲作・イモ類　【演習】田植え・ジャガイモの収穫
9回目	獣害・害虫対策：害獣・害虫・益虫　【演習】昆虫観察・グリーンカーテン作り
10回目	獣害・害虫対策：農村を取り巻く生物と植生　【演習】夏野菜の追肥：作ったぼかしの確認
11回目	土壌学：世界の土壌と日本の土壌　【演習】夏の雑草観察・屋上環境分析
12回目	土壌学：土壌生態学　【演習】秋野菜の準備・播種
13回目	果樹栽培：福岡県の特産品　【演習】イネの観察・虫宿づくり
14回目	期末テスト　【演習】土壌消毒・プランターで使った土の再生方法について
15回目	振り返り・後期の授業について　【演習】夏野菜の管理とジャガイモの定植
準備学習 時間外学習	授業内で出した課題について次回授業までに各自調べ学習を行うこと。
評価方法	筆記試験:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

「農学基礎セミナー　新版　農業の基礎」農文協

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アグリテックⅠ （Agritech Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	(株)マイファーム　八兒　美恵子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

座学では、農業の歴史と今、農業と自然観光、様々な農法、農薬と無農薬のメリットデメリット、世界の農業や未来の農業、野菜や果物の同定と育て方、害獣・害虫・益虫についてなど農業に関わる分野を幅広く学ぶ。演習では、屋上菜園を利用した有機農法（飼育動物のフンを使用し、土づくりから収穫まで）や最先端農業（ITやクラウド、水耕栽培など）について学ぶ。

※担当教員実務経験：福岡県飯塚市で有機農家として就農。アイガモ農法での稲作の経験有。生き物を大切にする農業を心がけ、農薬や化学肥料を一切使わない農業を行う。株式会社マイファームの技術講師として、糟屋郡新宮町で有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。

【到達目標】

農業に対する幅広い知識と視野を持ち、これからの農業と自然環境について自らの考えを持つことが出来るようになる。
屋上菜園において、有機農法で野菜や果樹の栽培・管理方法を理解し自らも行うことが出来るようになる。
化学農薬を使わず無農薬で栽培するために益虫や害虫の作用を理解する。

授業計画・内容	
1回目	ハーブ：世界・日本のハーブ・利用法・コンパニオンプランツとは　【演習】堆肥作り・秋冬野菜の定植
2回目	基礎生態学①：生態系について　【演習】夏野菜の撤去・ニンニクの定植
3回目	基礎生態学②：生物と周辺環境　【演習】ビオトープ観察と管理・有機質肥料づくり
4回目	基礎生態学③：植物について　【演習】ビオトープ稲の収穫・乾燥
5回目	鳥獣保護：狩猟と里山管理　【演習】サツマイモの収穫
6回目	昆虫学：農薬の昆虫への影響　【演習】ムギの播種・イチゴの定植
7回目	中間テスト　【演習】インセクトホテル作り
8回目	種について：固定種・在来種・外来種　【演習】ジャガイモの収穫
9回目	環境と産業：林業・漁業　【演習】タマネギの定植とマメの播種
10回目	土壌学：微生物と肥料・堆肥　【演習】ぼかしと光合成細菌の培養液作り
11回目	雑草学：有機農業と雑草の利用について　【演習】秋冬野菜の管理・ネット・支柱たて
12回目	畜産について：畜産と家畜を利用した農法について　【演習】土壌消毒と冬の管理について
13回目	ミツバチ：養蜂の現状と農薬　【演習】屋上菜園とビオトープの冬準備
14回目	テスト　【演習】腐葉土づくり
15回目	振り返り　【演習】冬野菜の収穫とプランターの清掃
準備学習 時間外学習	授業内で出した課題について次回授業までに各自調べ学習を行うこと。
評価方法	筆記試験60% 授業態度40%

【使用教科書・教材・参考書】

「農学基礎セミナー　新版　農業の基礎」農文協
「ビオトープ管理士資格試験　公式テキスト」公益財団法人日本生態系協会監修

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習Ⅰ (Computer Skills Practice Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井口　恵美里
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく。
前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する。
前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Wordを使ってレポート作成が出来るようになる。
安全にインターネットを利用できるようになる。
「We are ECO」のスライドが作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作①
4回目	Wordの基本操作②
5回目	Wordの基本操作③
6回目	Wordの基本操作④
7回目	Wordの基本操作⑤
8回目	Word中級編①
9回目	Word中級編②
10回目	Word中級編③
11回目	Wordの応用①
12回目	Wordの応用②
13回目	Wordの応用③
14回目	期末評価/Wordの応用まとめ
15回目	PowerPoint基礎①
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する。
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（Word作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

・COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）
・COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習Ⅰ (Computer Skills Practice Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井口　恵美里
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日3時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※担当教員：長年滋慶学園各校でコンピュータ授業を担当。

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らし、教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる。
Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成出来るようになる。
「We are ECO」のスライドを作成することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	PowerPoint基礎（印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション）
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価/Excel応用まとめ
15回目	まとめ(Word・Excel・PowerPoint)
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する。
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%)　※中間・期末の評価は提出作品（PowerPoint作品提出・Excel作品提出）

【使用教科書・教材・参考書】

・COMPUTER　BASIC　WORD　2019　（株式会社滋慶出版）
・COMPUTER　BASIC　EXCEL　2019　（株式会社滋慶出版）

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	SDGs （Sustainable Development Goals）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会　三浦徹志
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 3時限

【授業の学習内容】

前期は、SDGsの基礎知識を学ぶ。例えば大事な湿地や森林、熱帯雨林、動物の保護にはどんな国際条約があるのか。アフリカやアジア・南米の歴史と暮らし、現代の資本主義の特徴、市場競争とイノベーションの意味など、基本となる知識を学習し、テーマを選んで調べる。

※担当教員実務経験：日本SDGs協会理事。元大阪経済大学経営学部教授。大学や日本SDGs協会で若者や企業のSDGs活動の支援に従事。

【到達目標】

①SDGsを正しく理解しましょう。SDGsが生れて世界共通目標として取り組まれている理由、日本の政府が持続可能な社会を目指して環境保護やエネルギー政策、ゴミ問題、子育て・若者支援の政策などに重点的に取り組む背景を知り、SDGsが7年経って流行のムーブメントではなく、世の中の深刻な問題に根ざしていることに気づきましょう。
②世界は自然、社会、経済という3つの側面からとらえることができることを実感しましょう。それら3つはつながっていて、自然を土台にして共同体社会の街や制度、法律（ルール）ができ、その上で安全に経営したり、働き、暮らせる経済が成り立つことを確認して下さい。

授業計画・内容	
1回目	〈導入・基礎1回～6回〉SDGsの成り立ちと、SDGsの目的を理解する。SDGsの用語や基礎知識について学ぶ。
2回目	SDGsの3側面「環境」「社会」「経済」。自然環境の保全は農業や都市の土台。平等、自由、公共の福祉は社会の基礎。創意工夫の経済・自由取引は成長の基本。
3回目	自然環境の要素について。土、水、動植物・生物と人工物・建築物。　15.1,15.2,15.3,15.4,15.5,13.1
4回目	〔校外演習〕 博多湾の役割と自然環境・海の状態調査、検討。都市と交通。自然と街の関係を考える。　12.2,12.4,12.5,14.1,14.2,14.7,
5回目	博多湾調査のレポート開始。レポートの書き方：必要な項目、調査の記録事項、内容の整理と章立ての検討、事実記録と気づき、発見、考察・分析、まとめの構成。
6回目	博多湾調査から得た情報と知見から自然環境と社会・都市インフラ、産業経済・エネルギー基盤の成立、機能について。SDGsゴール9.1,8.5,7.2,11.3,11.a
7回目	〈中間テスト〉レポート完成、発表、提出
8回目	〈ゴールの学習〉 ゴール3.すべての人に健康と福祉、6.安全な水とトイレ
9回目	〈ゴールの学習〉 ゴール3.すべての人に健康と福祉、6.安全な水とトイレ
10回目	〈ゴールの学習〉 ゴール10.不平等の是正（所得引き上げ、移民政策等）、11.安全なまち・都市、12.作る責任
11回目	〈ゴールの学習〉 ゴール1.貧困をなくそう、2.飢餓ゼロ・食料安全保障・農業促進
12回目	〈ゴールの学習〉 ゴール1.貧困をなくそう、2.飢餓ゼロ・食料安全保障・農業促進
13回目	〈ゴールの学習〉 ゴール1.貧困をなくそう、2.飢餓ゼロ・食料安全保障・農業促進
14回目	期末テスト　8-13回で得た知識をもとに、レポートを作成し提出する。（各ゴールを1つ選ぶ。要点整理と気づき、意見を述べる形式）
15回目	前期に学習した内容から、重点となる項目、知識、考え方を振り返り、ポイントを整理し、理解を深める。
準備学習 時間外学習	毎授業で出される課題の予習復習を行うこと。
評価方法	筆記試験（レポート）:60% 実技試験（授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力）:30% 授業態度（積極性、聴く態度、他の受講生への協力など）:10%

【使用教科書・教材・参考書】

「60分でわかる！SDGs超入門」バウンド著　功能聡子・佐藤寛監修　技術評論社刊

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	SDGs （Sustainable Development Goals）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会　三浦徹志
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 3時限

【授業の学習内容】

後期は、SDGsの17の目標を経済面などの観点から学ぶ。 また、SDGsの元である「生まれながらの人権、自然権、平等思想」と幸福を追求する権利、「働き方」、「経済の成長」を考えます。SDGsの基礎である2015年国連決議、「2030アジェンダ・宣言」を読み、世界が共通の目標を必要とする理由を理解しましょう。地域再生や町おこしの事例、産業・企業のSDGs活動の事例をみながら、具体的にゴールの学習を進める。民間企業が主役となって公共的な社会課題をビジネスに取り入れ、男女の別や障害の有無に関係なく誰もが希望を持ち、活躍できる社会作りを検討する。経済のゴール（1, 2, 8, 9, 17）と教育、人権、平和と公正な制度のゴール（4, 5, 16）」を確認します。経済・経営の仕組みにも触れ、SDGs経営を考えましょう。

※担当教員実務経験：日本SDGs協会理事。元大阪経済大学経営学部教授。大学や日本SDGs協会で若者や企業のSDGs活動の支援に従事。

【到達目標】

学んだSDGsの知識、理解をノートにまとめ、整理し、自身のSDGs計画として発表できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	*テーマ3:経済*　後期の説明　2030アジェンダを読む　ｺﾞｰﾙ8　経済成長と働きがい。 事例：福島県M製作所　地元材料でチョコレート製造開始
2回目	*テーマ3:経済*　〈ゴールの学習〉 ｺﾞｰﾙ9　産業育成・技術イノベーション　事例：石川県K工業株式会社　中古エンジンの再生・南米輸出
3回目	*テーマ3:経済*　〈ゴールの学習〉 ｺﾞｰﾙ9　産業育成・技術イノベーション　事例：東京都F協同組合　海外技能労働者の招致
4回目	*テーマ3:経済*　〈ゴールの学習〉　ｺﾞｰﾙ　17.パートナーシップ　事例：沖縄県K協同組合　離島の産業振興　三重県I 町野外活動
5回目	*テーマ3:経済*　〈ゴールの学習〉　ｺﾞｰﾙ　17.パートナーシップ　事例：徳島県A株式会社　空き家のサテライトオフィス誘致
6回目	*テーマ3:経済*　〈ゴールの学習〉　ｺﾞｰﾙ　4.　質の高い教育確保・生涯学習　事例：大阪府Y福祉法人　アート教育による社会参加
7回目	〈中間テスト〉　6回目までに学んだ知識をもとに　**筆記テスト**
8回目	*テーマ4:総合*　最終レポート課題「自身のSDGs経営提案」準備の説明
9回目	*テーマ4:総合*　〈ゴールの学習〉 5.ジェンダー平等の達成・女性と女児の能力強化、16.持続可能な開発のための平和促進、法制度
10回目	*テーマ4:総合*　SDGsと経済・経営の関係　自由経済、競争と市場の仕組み。 企業の利益、業績。CSR（社会的責任）とCSV（経済と社会の共通価値創造）
11回目	*テーマ4:総合*　SDGsと経営　ESG投資。環境省、COP（ｺｯﾌﾟ）21・IPCC（気候変動枠組み）、UNDP（国連開発機構）、CDP（英国の評価団体）ほか
12回目	*テーマ4:総合*　レポート作成開始　各自ワーク、PCで情報整理、まとめ。プレゼンテーションの練習、ほかの人とコミュニケーションする。
13回目	*テーマ4:総合*　レポート作成　各自ワーク、PCで情報整理、まとめ。プレゼンテーションの練習、ほかの人とコミュニケーションする。
14回目	期末テスト　レポート完成、発表、質疑、意見交換　**レポート提出**
15回目	後期まとめ　学習した内容の重点知識、考え方を振り返り、ポイントを整理、理解を深める。
準備学習 時間外学習	毎授業で出される課題の予習復習を行うこと。
評価方法	筆記試験（レポート）60% 実技試験（授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力）30% 授業態度（積極性、聴く態度、他の受講生への協力など）10%

【使用教科書・教材・参考書】

「60分でわかる！SDGs超入門」バウンド著　功能聡子・佐藤寛監修　技術評論社刊

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	起業家学習 Ⅰ （Entrepreneur Learning Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 4時限

【授業の学習内容】

地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力（アントレプレナーシップ）を培うための基礎講座。
起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、今後どのような職業に就いても必要になる力である。この講座では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得ための人を巻き込むネットワーキング力などを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。

※担当教員：アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。

【到達目標】

1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。
2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。
3. チームで協力して1つの事業を実行できるスキルを身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	なぜアントレプレナーシップ(起業家的行動能力)が必要か ：現在の社会的背景や起業家が生み出す新規事業により変革する暮らしを知る （福岡の起業家を例に身近な事例を紹介）
2回目	ビジネスチャンスを見つける ：自分達の身近なところにある不便さを解決することがビジネスにつながることを事例を挙げて紹介し、学生が利用する製品やサービスにもそういうものがないか考えさせる。
3回目	チャンスをビジネスにする：自分達が気づいたビジネスチャンスを生かすためにどうするか考え、検討する上で必要なデータをどのように集めるか具体的な計画を書いてみる
4回目	調査・分析・フィールドワーク①：自分達の調査計画に則ってフィールド調査の準備をする（調査場所・ヒアリングする人・何を質問するか・調査情報はどのような形で分析するかなど）
5回目	調査・分析・フィールドワーク②：前回の調査データを分析し、自分達がこの授業で形にする事業アイデアを議論する
6回目	プロジェクト決定！！：チームで取り組む事業アイデアを決め、それを実現するために必要な作業をリストアップしスケジュールを立案する
7回目	競合他社の研究：自分達の事業アイデアと似たような事業をしているところを調べ、自分達の強み弱みなどを検討する（SWOT分析・ポジショニング分析）
8回目	事業の分析：前回学んだフレームワークを使い、自分達の事業を分析したうえで、互いに意見交換し事業内容を見直す
9回目	収支計画と資金調達：事業をするうえで必要な経費の計算をするとともに、事業をする上での資金調達について学ぶ(融資、補助金、助成金、協賛・寄付、クラウドファンディング等)
10回目	マーケティングについて：ターゲット顧客の設定方法（セグメンテーション）・最近の消費者行動（AIDMA→AISAS）について学ぶ
11回目	事業計画書の立案：今まで議論したことを事業計画書としてまとめる
12回目	プレゼン資料作成：事業計画書にもどついて、支援者に説明する資料を作成し、協力者を増やすプレゼンを学ぶ
13回目	ネットワーキング：事業を説明するプレゼン資料が出来たら、身近な人達に事業内容を聞いてもらい、いろんな意見を聞き、それを参考にさらに事業内容を改善する
14回目	協力者を見つける：改善した事業資料を持って、協力して欲しい企業等を訪問し、その結果を報告しあう
15回目	事業の実現に向けて：訪問企業の人達から得た助言を生かし、今後、どのように提案事業を実施していくかを計画し、発表しあう
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	1. 事前課題等の各種レポート　（50%） 2. 授業内発表　（30%） 3. 出席率　（20%）

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント、オンライン教材(ユースエンタープライズ)など

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	起業家学習 Ⅰ （Entrepreneur Learning Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 4時限

【授業の学習内容】

地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力（アントレプレナーシップ）を培うための基礎講座。
起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、今後どのような職業に就いても必要になる力である。この講座では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得ための人を巻き込むネットワーキング力などを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。

※担当教員：アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。

【到達目標】

1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。
2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。
3. チームで協力して1つの事業を実行できるスキルを身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	資金調達を体験してみよう！：事業計画書で決めた方法で資金援助を頼む(頼みに行く)
2回目	試作を決める＆作る：「プレトタイプ」の手法を知る。各自考えてきた試作の発表とどのプレトタイピングを行うか決めて試す
3回目	試作のフィードバックと改良を行う：プレトタイプの結果をフィードバックし、良かったものの改良を行いプロトタイプを作る。
4回目	活動の発信と広報のやり方を知る：広報と発信方法について学び、ターゲット顧客に合わせた方法を決めて発信する
5回目	プロトタイプのお披露目：協力企業にもっていき、フィードバックをもらう。持ち帰って商品を作り始める
6回目	発表準備＆商品づくり：商品づくりを引き続き行う。PPTを使っての発表の仕方・見せ方を学ぶ
7回目	プロジェクトの進捗発表：協力者に向けて1年半取り組んできたことと進捗を発表する。
8回目	プロジェクトの準備①：プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する
9回目	プロジェクトの準備②：プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する
10回目	プロジェクトの準備最終確認、データまとめの仕方を学ぶ：顧客データがなぜ必要か、データの収集の仕方、PPT上での表現の仕方を学ぶ
11回目	プロジェクトの実施①：現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
12回目	プロジェクトの実施②：現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
13回目	プロジェクトの結果まとめと発表準備：事業計画に沿って収支をまとめ、結果を総括する
14回目	プロジェクトの成果発表と第三者評価：協力者に向けてプロジェクトの結果を発表し、フィードバックをもらう
15回目	1年間の振り返りと総括：1年間で学んできたことの復習と各自の成長を認識する
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	1. 事前課題等の各種レポート　（50%） 2. 授業内発表　（30%） 3. 出席率　（20%）

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント、オンライン教材(ユースエンタープライズ)など

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	フィールドワーク演習Ⅰ （Fieldwork Exercises Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大橋　光雄
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

自然体験活動と野外教育の意義やキャンプの安全などの知識を学ぶとともに、キャンプのアクティビティを体験しながらプログラムの指導についても学ぶ。
四季折々の体験活動を体得しながらアクティビティ（activity）シートに記録しながら学びへとつなげていく。

※担当教員実務経験：福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。（公益社）日本キャンプ協会　元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプ指導者資格取得を目指す。
自然体験活動の指導者の資格を目指す。

授業計画・内容	
1回目	自然体験活動と野外教育って何だろう1フィールドワーク演習123（何のためにするのか？サバイバル？　キャンプ？）
2回目	自然体験活動と野外教育って何だろう2フィールドワーク演習123（キャンプの特性～キャンプの意義と目的　種類）
3回目	自然体験活動と野外教育って何だろう3フィールドワーク演習123（ルール・マナー環境教育との違い？）
4回目	自然体験活動と野外教育って何だろう4フィールドワーク演習123（人間と自然の関係）
5回目	自然体験活動と野外教育って何だろう5フィールドワーク演習123（人間の理解）
6回目	自然体験活動と野外教育って何だろう6フィールドワーク演習123（自然の理解）
7回目	自然体験活動と野外教育の指導者（指導者資格の種類～キャンプインストラクターの役割
8回目	自然体験活動と野外教育の指導者（キャンプにおけるカウンセリングーソフトスキル）
9回目	自然体験活動と野外教育の指導者（指導者のためのコミュニケーションスキル）
10回目	自然体験活動と野外教育の指導者（キャンパーの観察と記録）
11回目	自然体験活動と野外教育の安全管理（キャンプにおける安全の考え方）
12回目	自然体験活動と野外教育の安全管理（安全管理の実際1の考え方）
13回目	自然体験活動と野外教育の安全管理（安全管理の実際2の考え方）
14回目	期末テスト(キャンプインストラクターの資格を取得するための試験内容に似たもの？？）
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	自然体験活動やアウトドアでのニュースや現象をとらえて雑誌やネットをで興味あるものを調べておく。 意味あるものにするために知らないことや新しい単語等は調べ使えるようになること。
評価方法	筆記試験:50%　（ミニテストも含む） 実技試験:50%　（授業内での実技のテストも含む）

【使用教科書・教材・参考書】

（公益社）日本キャンプ協会　[キャンプ指導者入門）
オリジナルプリント

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	フィールドワーク演習Ⅰ （Fieldwork Exercises Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大橋　光雄
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

前期で学んだことをほかの人に伝え教えられるように実践を多く行う。また一人でキャンプの準備からプログラム作成までできるようになる。

※担当教員実務経験：福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。（公益社）日本キャンプ協会　元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプ指導者資格取得を目指す。
無人島で1泊2日サバイバルができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（キャンプの基本装備　個人装備・団体装備）
2回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（衣食住を考える～キャンプの生活技術）
3回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（衣食住を考える～アウトドアクッキング）
4回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（衣食住を考える～テントの設営）
5回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（ロープワーク入門）
6回目	自然体験活動と野外教育　実技(フィールドワーク）編　（衣食住を考える～テントの設営）
7回目	自然体験活動と野外教育プログラムの企画・運営・評価（アクティビティ（activity）を知る）
8回目	自然体験活動と野外教育プログラムの企画・運営・評価（キャンプでのアクティビティ（activity）を知る）
9回目	自然体験活動と野外教育プログラムの企画・運営・評価（環境系アクティビティ（activity）を知る）
10回目	自然体験活動と野外教育プログラムの企画・運営・評価（冒険系アクティビティ（activity）を知る）
11回目	自然体験活動と野外教育と体験学習法1　（アイスブレイキング）
12回目	自然体験活動と野外教育と体験学習法2（自然とふれあうアクティビティ）
13回目	自然体験活動と野外教育と体験学習法3（人と関わるアクティビティ）
14回目	期末テスト(キャンプインストラクターの資格を取得するための試験内容に似たもの？？）
15回目	期末振り返り　補講
準備学習 時間外学習	自然体験活動やアウトドアでのニュースや現象をとらえて雑誌やネットをで興味あるものを調べておく。 意味あるものにするために知らないことや新しい単語等は調べ使えるようになること。
評価方法	筆記試験：50% 実技(フィールドワーク）試験：50%

【使用教科書・教材・参考書】

（公益社）日本キャンプ協会　[キャンプ指導者入門）
オリジナルプリント

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アドベンチャーツーリズムⅠ （Adventure Tourism Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	一般社団法人九州のムラ　養父　信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日　1・2時限

【授業の学習内容】

SDGsを踏まえ「グリーンツーリズムとは何か」を学ぶ。
また実際にグリーンツーリズムを体験しながら企画運営方法や地域の人との繋がりの作り方などを学ぶ。

※担当教員実務経験：一般社団法人九州のムラの代表理事。また「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任。
九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。
宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても従事。

【到達目標】

グリーンツーリズム概論及びアグリビジネス概論の講座と実地研修を通して、
「グリーンツーリズムとは何か、農山漁村でのアグリビジネスの可能性」を理解する。

授業計画・内容	
1回目	グリーンツーリズムを学ぶ。グリーンツーリズム概論
2回目	先進地域　イタリアのガルロッソに学ぶアグリツーリズムビジネス
3回目	ムラ暮らしインターンから半農半Xについて学ぶ
4回目	ムラ暮らしインターンから新規就農について学ぶ
5回目	宗像国際環境会議の取り組みからSDGを学ぶ
6回目	地域おこし協力隊について学ぶ（壱岐・対馬などの事例）
7回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
8回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
9回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
10回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
11回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
12回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
13回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
14回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
15回目	前期テスト（レポート）課題提出＆返却
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行うこと。
評価方法	レポート評価:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

雑誌「九州のムラ」、九州のムラHP、宗像国際環境会議HP、総務省「地域おこし協力隊」制度　HP他

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アドベンチャーツーリズムⅠ （Adventure Tourism Ⅰ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	一般社団法人九州のムラ　養父　信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

実際に地域に2週間研修として入り、
「グリーンツーリズムとは何か」「地域での農村ビジネスの可能性」「地域おこし協力隊として仕事をするとはどういうことか」などを学ぶ。

※担当教員実務経験：一般社団法人九州のムラの代表理事。また「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任。
九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。
宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても従事。

【到達目標】

農村漁村でビジネスを行うことのイメージを実地研修を通じて理解する。

授業計画・内容	
1回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
2回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
3回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
4回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
5回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
6回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
7回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
8回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
9回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
10回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
11回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
12回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
13回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
14回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
15回目	後期テスト（レポート）課題提出、回収
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行うこと。
評価方法	レポート評価:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

「阿蘇遺産」「九州のムラ」他

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅰ (Marine Activity Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則(オムニバス形式)
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

①自然をフィールドにした環境活動を学ぶ。
②安全に活動を行うためのスキルを身につける。
③インタープリターとして必要なリーダーシップを身につける。
④社会に向けて啓発活動を行う。
⑤環境活動分野において活躍している方々に接し、理解を深める。

※担当教員実務経験：水族館や青少年自然の家、青少年海の家を運営している企業・団体の実務経験者や、河川環境保全モニターとして審議・現場指導、河川環境教育を行っている実務経験者を招聘し、オムニバス形式で演習を行う。

【到達目標】

海洋環境における福岡の海の現状やそれを取り巻く社会課題について学び、解決する方法を考える。
また、リーダーシップ論や、インタープリターとしての心得を学び、安全かつ建設的なフィールドワークの実行スキルを習得するとともに、本授業によって得た知識や経験を他者へ「伝える」ことを通して、自身の持つ事実情報や考えを表現する能力を養う。

授業計画・内容	
1回目	門司少年自然の家宿泊演習
2回目	門司少年自然の家宿泊演習
3回目	門司少年自然の家宿泊演習
4回目	門司少年自然の家宿泊演習
5回目	渕上先生河川生体調査
6回目	マリンワールド　生体調査①
7回目	マリンワールド　生体調査①
8回目	マリンワールド　生体調査②
9回目	マリンワールド　生体調査②
10回目	海の中道青少年海の家　事前研修
11回目	海の中道青少年海の家　事前研修
12回目	海の中道青少年海の家　事前研修
13回目	海の中道青少年海の家　事前研修
14回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習①
15回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習①
準備学習 時間外学習	研修施設や課外活動内容について事前学習を行うこと。
評価方法	■授業参加率：80% ■レポート：20%

【使用教科書・教材・参考書】

パワーポイントまたはkeynote、自然観察に必要な図鑑・論文等

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅰ (Marine Activity Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則(オムニバス形式)
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

①自然をフィールドにした環境活動を学ぶ。
②安全に活動を行うためのスキルを身につける。
③インタープリターとして必要なリーダーシップを身につける。
④社会に向けて啓発活動を行う。
⑤環境活動分野において活躍している方々に接し、理解を深める。

※担当教員実務経験：水族館や青少年自然の家、青少年海の家を運営している企業・団体の実務経験者や、河川環境保全モニターとして審議・現場指導、河川環境教育を行っている実務経験者を招聘し、オムニバス形式で演習を行う。

【到達目標】

海洋活動について、学生自身が継続して考え取り組み、他者に伝える場づくりを行う。
「伝える」場においては、多様な年代や立場の人に向けて伝える内容をデザインするとともに、「伝わる」ための表現能力を養う。
上記を通じて、インタープリターとしての伝える喜びや、活動の広がりを学生自身が実感する。

授業計画・内容	
1回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
2回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
3回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
4回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
5回目	マリンワールド　生体調査③
6回目	マリンワールド　生体調査③
7回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習②
8回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習②
9回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
10回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
11回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
12回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
13回目	マリンワールド　生体調査④
14回目	マリンワールド　生体調査④
15回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習③
準備学習 時間外学習	研修施設や課外活動内容について事前学習を行うこと。
評価方法	■授業参加率：80% ■レポート：20%

【使用教科書・教材・参考書】

パワーポイントまたはkeynote、自然観察に必要な図鑑・論文等

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	野生動物保全 （Wildlife Conservation）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	津田　堅之介
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 2時限

【授業の学習内容】

国内の絶滅が危ぶまれる野生動物とその生態、また保全状況や問題を学ぶ。実際に保全活動をしている方を訪問し活動状況も学ぶ。

※担当教員実務経験：大分県ニホンカモシカ調査員。野崎島ビジターセンター非常勤学芸員。日本獣医生命科学大学在学中に自然環境研究センターでニホンザル及びニホンカモシカ生態調査に参加。その後、栗林慧自然科学写真研究所アシスタントを経て野生動物保護管理事務所（WMO）委託研究員として栃木県足尾、屋久島、五島列島福江島で捕獲及びテレメトリー法による哺乳類生態調査に参加。哺乳・両生・爬虫類及びクマタカをはじめとする猛禽類の撮影・生態調査に従事。

【到達目標】

国内の野生動物の生息状況と保全についての現状と生態調査の手法を知る。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介と一年の流れの解説・屋上ビオトープにトレイルカメラ（自動撮影装置）を仕掛ける
2回目	日本列島の生い立ちと野生動物分布の歴史
3回目	野生動物の生息状況調査方法と機材・役に立つスマートフォン用アプリケーションについて・野外の危険な生物とフィールドでの危険回避法
4回目	日本の希少動物・レッドデータブックとレッドリスト・絶滅の原因
5回目	沖縄やんばるの野鳥・動物と保全
6回目	ツシマヤマネコパート1（対馬の自然と野生動物・ヤマネコの生態と生息状況）
7回目	北九州いのちのたび博物館見学と伊澤館長の西表ややんばるそして対馬のヤマネコとカワウソを中心にしたお話を聞く
8回目	北九州いのちのたび博物館見学と伊澤館長の西表ややんばるそして対馬のヤマネコとカワウソを中心にしたお話を聞く
9回目	九州のニホンカモシカと保全
10回目	クマタカの生態と保全
11回目	世界最北の霊長類ニホンザルの生態と保全
12回目	出水を中心に日本に生息するツルの生態と保護管理パート1
13回目	出水を中心に日本に生息するツルの生態と保護管理パート2
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	授業内容についての予習復習を行うこと。
評価方法	筆記試験:80% 授業態度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

研究者の論文
津田撮影の写真と動画・録画しているテレビ番組

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	野生動物保全 （Wildlife Conservation）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	未定
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限

【授業の学習内容】

国外の絶滅が危ぶまれる野生動物とその生態、また保全状況や問題を学ぶ。

※担当教員実務経験：保全活動に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

国外の野生動物の生息状況と保全についての現状を知る。

授業計画・内容	
1回目	野生動物保護の問題点・ワシントン条約・日本への密輸入と種の保存法
2回目	世界初の国立公園アメリカ合衆国イエローストーンの自然と野生動物
3回目	ユネスコ世界自然遺産第一号ガラパゴス諸島パート1
4回目	ユネスコ世界自然遺産第一号ガラパゴス諸島パート2
5回目	エクアドル奥アマゾンの自然パート1
6回目	エクアドル奥アマゾンの自然パート2
7回目	中間テスト
8回目	ネパールの自然と野生動物の保護管理パート
9回目	ネパールの自然と野生動物の保護管理パート2
10回目	中国のトキ奇跡の復活と生態パート1
11回目	中国のトキ奇跡の復活と生態パート2・日本での野生復帰の状況と問題点
12回目	アフリカの希少野生動物の現状・密猟者との戦い・住民との軋轢など
13回目	アライグマを中心に世界の外来種問題
14回目	期末テスト
15回目	後期振り返り
準備学習 時間外学習	授業内容についての予習復習を行うこと。
評価方法	筆記試験80% 授業態度20%

【使用教科書・教材・参考書】

撮影した写真や作成した資料等

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	進級課題 （Level Advancement Study）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別講義＆見学 （Special Lecture）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （　Global Communivcation　）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

好きな事について話すことができる。商品のレビューを読み、書くことができる。
平日、週末のアクティビティについて話すことができる。日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。
道順について尋ねる、また教えることができる。場所についての特徴について読み、書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授業計画・内容			
1回目	個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ。Be 動詞を学ぶ、復習する。疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く。大文字、ピリオドの使い方を学ぶ。	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ。家族について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ。	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」	オンデマンド	
6回目	[it is]の使い方を学ぶ。家具について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	ホームシェアについてのメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)。好きな事について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	連絡を取り合う方法について話す。相手の話を聞いていることを示す。	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」	オンデマンド	
11回目	「現在形」疑問文（yes/no / WH-question)を学ぶ。時間・ルーティンについて話す。	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ。町にある場所について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	グローバルコミュニケーション（Global Communivcation）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。オンラインでの招待状を読み、書くことができる。
過去についての場所や出来事、過去の人について述べることができる。思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。
食べた食事について話すことができる。レストランのレビューを読む、また書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授業計画・内容			
1回目	「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	[Can / Can't]（能力）を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	自分の意見を述べる。自分はある仕事の適任者であることを説明する。	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて話す」	オンデマンド	
6回目	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ。使い分けがわかる旅行計画を立てる。	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く。	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[be going to]（陳述文）の使い方を学ぶ。週末に向けたアウトドア活動の計画について話す。	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	あることをやってはいけない理由を説明する。	オンデマンド	
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	「過去形」（was / were)の疑問文を学ぶ。色、記憶について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	思い出の品についての記事やメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	「過去形」の陳述文を練習する。スナック、軽食について話す。	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	[so / really]（強調する）の使い方を学ぶ。食べ物・飲み物を注文する。	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	海外実学研修 （Overseas Practical Training）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	現地各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 （ 4 ）	開講区分	未定
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。

※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける
・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける
・世界における日本の立場を理解する
・自身のキャリアをデザインする

授業計画・内容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習 時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の海外実学研修ノート

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	イベント運営 （ Event Management ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ボランティア活動 （ Volunteer Work ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 （単位）	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	資格取得講座 （Seminar for a Qualification）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	ECOアドベンチャーツーリズム専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション II （Global Communivcation II）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話すことができる。
ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、
また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントに
ついて話すことができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。
店内で欲しいものについて述べることができる。新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	所有形容詞を学ぶ。知人・家族について話す
2回目	話の切り出し方を学ぶ会話を始める表現を学ぶ。驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて話す」
4回目	名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ。職場について話す
5回目	ポッドキャストについての意見を読む、書く
6回目	「現在進行形」を学ぶ・復習する。今していることについて話す
7回目	情報を得るため、必要な表現を学ぶ。知らない情報をチェックする
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る、発表する」
9回目	「目的語」の使い方を学ぶ.。贈り物について話す
10回目	イベントへの招待を読む、書く
11回目	人生の中での過去のイベントについて話す。自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝える
12回目	お祝いの言葉を学ぶ。人の気持ちを推察する表現を学ぶ。自分の認識が正しいかどうかを確認する
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「過去の有名な出来事をまとめる」
14回目	「限定詞」を学ぶ。買い物習慣について話す
15回目	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験:50% 授業態度:50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	グローバルコミュニケーション II （Global Communivcation II）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	火曜日 1時限、金曜日 1時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。
提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べることができる。
広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。
したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。
天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授業計画・内容	
1回目	「数量詞」を学ぶ。一番好きな食べ物について話す
2回目	レストランで頼みたいものについて説明する。「I mean」を使い、会話を練習する
3回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティを計画し、発表する」
4回目	[to / for]を使って、理由を説明する。過去に行った旅行について話す
5回目	海外生活についてのアドバイスを読む、書く
6回目	「形容詞の比較級」を学ぶ。お店とお店での売り物を比較する
7回目	[I guess]を使い、意見を尋ねる、または述べる
8回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「広告を作り、発表する」
9回目	将来の予想を立てる表現を学ぶ。健康問題について話す
10回目	未来の自分へのメールを書く
11回目	「現在完了形」を学ぶしたことがあること、ないことについて話す
12回目	人に頼む際に使う表現を学ぶ。頼まれた際に使う表現を学ぶ
13回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「ビデオ、またVlogを作る」
14回目	「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ。場所、人、物事を説明する
15回目	場所についての説明を読む、方法についての説明リストを書く
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験:50% 授業態度:50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Career Planning Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	後藤　博美
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日 3時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、
チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。
進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。
各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること(チームワーク)を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。

【到達目標】

卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。
チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことが出来る。
社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現のための目標設定をし実践できる。

授業計画・内容	
1回目	前期オリエンテーション:4年間の流れと後期スケジュール確認。目標設定と実践プランの作成
2回目	1週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目を終えて授業の確認、授業の受け方(準備・ノートのとり方)、号令や掃除の仕方の確認と実施、GWの過ごし方について
4回目	GWの振り返り、生活習慣について
5回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)、中間試験について(単位、GPA、奨学金)
6回目	学園祭について(積極性・チームワークなど協働、ホスピタリティを学ぶ)
7回目	学園祭準備
8回目	中間試験の振り返り、学園祭準備
9回目	学園祭の振り返りとまとめ、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	業界研修について
11回目	業界研修について
12回目	期末試験・補講・追再試について(試験規定、進級に向けての必要単位数など便覧記載内容の確認と理解)、夏休みの過ごし方について
13回目	夏休みの振り返り、海外プログラムについて
14回目	海外プログラムについて
15回目	期末試験の振り返り、前期の振り返り、後期授業について理解する
準備学習 時間外学習	・特別講義に参加 ・事前課題に取り組み、各種レポートを提出すること
評価方法	クラス(集団)への参加度や理解度・・・80% 事前課題などの各種レポートの提出と記入内容…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life style
オリジナル資料

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	キャリアプランニングⅡ（Career Planning Ⅱ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	後藤　博美
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日 3時限

【授業の学習内容】

キャリア教育の一環としてクラスメイト、担任とのコミュニケーションを図り社会人となる心構えやホスピタリティを理解し、
チームワークと社会の中で自己実現できるスキルを身につける。
進級時春の業界研修に向け、目標、姿勢、心構えなど準備を整え備える。
各種学内イベントを通じて、集団での動きや協力すること（チームワーク）を理解しクラスの一員としての役割を実践できる。

【到達目標】

卒業までのキャリアプランを理解し、セルフマネジメントを実践できるように取り組む。
チームワーク、チームマネジメントを理解、実践し集団の中での役割を果たすことが出来る。
社会人として必要な社会性、人間性を学び、身につける。
目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる。
自己実現のための目標設定をし実践できる。

授業計画・内容	
1回目	後期オリエンテーション：後期スケジュール確認と目標設定と実践プランの作成
2回目	1週目を終えて授業の確認・授業の受け方（準備・ノートのとり方）・号令や掃除の仕方の確認と実施
3回目	2週目の振り返り（課題：自己分析・将来の方向性・企業リサーチなど）
4回目	進級課題制作：　テーマ設定、チーム決め、内容決め
5回目	進級課題制作：　テーマ決定、制作、中間試験について
6回目	進級課題制作：　制作
7回目	進級課題制作：　制作
8回目	中間試験の振り返り、進級課題制作：　制作
9回目	進級課題制作：　制作、前期前半の振り返りと目標設定や学習計画についての見直し
10回目	進級課題発表：　前半グループ
11回目	進級課題発表：　後半グループ
12回目	イベント運営：　We are ECO 進級制作展準備、期末試験・補講・追再試について、冬休みの過ごし方について
13回目	イベント運営：　We are ECO 進級制作展準備
14回目	イベント運営：　We are ECO 進級制作展準備
15回目	期末試験の振り返り、後期の振り返り、次年度カリキュラムについて理解する、イベント運営：　We are ECO 進級制作展準備
準備学習 時間外学習	・特別講義に参加 ・事前課題に取り組み、各種レポートを提出すること
評価方法	クラス（集団）への参加度や理解度・・・80% 事前課題などの各種レポートの提出と記入内容…20%

【使用教科書・教材・参考書】

Hand-book of Life style
オリジナル資料

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ホスピタリティⅡ （ Hospitality Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	中嶋　貴子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日　1時限

【授業の学習内容】

授業内容：人とのかかわりの中で協力して行わなければならないグループワークを主に、チームワーク力を理解し身につける。授業スタートにアイスブレイクを入れ楽しさの中で成長することの素晴らしさを体験することを目標とする。また7つの習慣の基礎原則を毎週自己確認を行う。

※担当教員実務経験：女性の自己実現スクールで10年間講師を務める。EQ行動心理学講師として企業、個人のカウンセリングに従事。
アートサロン主宰として事業を展開。

【到達目標】

ホスピタリティ基本である「コミュニケーション基礎」を理解し身につける。EQ行動心理学を主に「対人関係を良くする5つの要素」をスキルとして修得する。
「共感力、協働力、責任感」といったチームワーク力を理解し身につけることを目標とする。それらを通して人間関係が修正・充実し、生活全般が活性化されることを目指す。
また、アクティブ・ラーニング形式（演習形式）で学び、社会で求められている「アクティブに思考・行動する力」を身につける。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　すごろく自己紹介
2回目	コミュニケーション基本　　ホスピタリティコミュニケーションって何？
3回目	ホスピタリティの5大要素　自己分析　自己開示（自分のことを話そう）
4回目	ホスピタリティマインド①　EQ検査　エゴグラム
5回目	ホスピタリティマインド②　客観的に見えてくる自己分析
6回目	ホスピタリティマインド③　聴く　なぜ「聴く」のか？　聴き方の失敗例
7回目	ホスピタリティマインド④　共感的理解　共感技法　思いやりとは
8回目	ホスピタリティマインド⑤　日本の文化から学ぶ　江戸しぐさ①　江戸のEQ
9回目	ホスピタリティマインド⑤　江戸しぐさ②　人間関係　言葉遣い
10回目	ホスピタリティマインド⑥　江戸しぐさ③　共生の哲学
11回目	ホスピタリティマインド⑦　感情と行動　思いやりの感情について
12回目	ホスピタリティマインド⑧　効果的な質問　質問力
13回目	ホスピタリティマインド⑨　お互いの価値観を知ろう
14回目	まとめ　レポート課題
15回目	マインドフルネス
準備学習 時間外学習	人に興味（人間ウォッチングなど）持つこと。
評価方法	講義の理解確認の基になる内容なので、出席重視で進める。 ワークは、「少人数でのグループワーク形式」で進める。 ①毎回の授業での自己確認表記入と理解度確認50% ②レポート点＝50%

【使用教科書・教材・参考書】

アクティブラーナ7つの習慣ジュニア
コミュニケーションスキルが身につくレクチャー＆ワークシート
職場の関係をよくするEQ入門　江戸の繋盛しぐさ

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	ホスピタリティⅡ （ Hospitality Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	中嶋　貴子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日　1時限

【授業の学習内容】

授業内容：人とのかかわりの中で協力して行わなければならないグループワークを主に、チームワーク力を理解し身につける。授業スタートにアイスブレイクを入れ楽しさの中で成長することの素晴らしさを体験することを目標とする。また7つの習慣の基礎原則を毎週自己確認を行う。

※担当教員実務経験：女性の自己実現スクールで10年間講師を務める。EQ行動心理学講師として企業、個人のカウンセリングに従事。
アートサロン主宰として事業を展開。

【到達目標】

ホスピタリティ基本である「コミュニケーション基礎」を理解し身につける。EQ行動心理学を主に「対人関係を良くする5つの要素」をスキルとして修得する。
「共感力、協働力、責任感」といったチームワーク力を理解し身につけることを目標とする。それらを通して人間関係が修正・充実し、生活全般が活性化されることを目指す。
また、アクティブ・ラーニング形式（演習形式）で学び、社会で求められている「アクティブに思考・行動する力」を身につける。
サービス産業から感動共有業へホスピタリティの重要性を理解し、社会人として対応できるよう意欲と自信をもてるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　目標設定　人生を描いていこうドリームマップ作成
2回目	ドリームマップから見る私的成功を得るための習慣　自信貯金
3回目	自己実現　パラダイムシフトによって行動が変わる
4回目	ホスピタリティコミュニケーション①　伝える力を発揮するためのワーク
5回目	ホスピタリティコミュニケーション②　企業におけるホスピタリティついて事例を用い考え発表する
6回目	ホスピタリティコミュニケーショ③　信頼関係の基本　第一印象と敬語を理解する
7回目	ホスピタリティコミュニケーション④　クッション言葉とアイメッセージ
8回目	ホスピタリティコミュニケーション⑤　人間の欲求について　マズロー欲求を理解する
9回目	ホスピタリティコミュニケーション⑥　論理的な思考　論理的に組み立てて話す
10回目	ホスピタリティコミュニケーション⑦　論理的思考　あなたならどうする？
11回目	ホスピタリティコミュニケーション⑧　論理的思考　あなたならどうする？　謝罪、クレーム
12回目	ホスピタリティコミュニケーション⑨　チームワークの効用と体感するワーク
13回目	ホスピタリティコミュニケーション⑩　将来を考えよう人生の価値観
14回目	まとめ　レポート課題
15回目	自分を売り子もう　自己アピール
準備学習 時間外学習	人に興味（人間ウォッチングなど）持つこと。
評価方法	講義の理解確認の基になる内容なので、出席重視で進める。 ワークは、「少人数でのグループワーク形式」で進める。 ①毎回の授業での自己確認表記入と理解度確認50% ②レポート点＝50%

【使用教科書・教材・参考書】

アクティブラーナ7つの習慣ジュニア
コミュニケーションスキルが身につくレクチャー＆ワークシート
職場の関係をよくするEQ入門　江戸の繋盛しぐさ

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アグリテックⅡ （Agritech Ⅱ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	(株)マイファーム　八兒　美恵子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

屋上ビオトープの管理とビオトープ管理士試験についての内容を学ぶ。ビオトープ管理士の内容から環境関連法について幅広く環境に対する知識を習得する。
また演習では、校舎のある福岡市博多区の環境を調べ、生き物が飛来することのできる環境づくりを目指す。

※担当教員実務経験：福岡県飯塚市で有機農家として就農。アイガモ農法での稲作の経験有。生き物を大切にする農業を心がけ、農薬や化学肥料を一切使わない農業を行う。株式会社マイファームの技術講師として、糟屋郡新宮町で有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。

【到達目標】

ビオトープネットワークの考え方から屋上菜園や自宅周辺の自然環境について深く考え、人間と共生できる環境づくりを自身の考えを踏まえて想定することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・年間計画づくり　【演習】堆肥の切り替えし・屋上ビオトープ改修計画づくり・赤玉土搬入
2回目	ビオトープ論：ビオトープの定義・現状　【演習】屋上ビオトープ：表土剥がし
3回目	ビオトープ論：生態系サービスについて　【演習】屋上ビオトープ：山野草の定植、前年度の種からイネの育苗
4回目	環境関連法①　【演習】屋上ビオトープ：防水シート入れ・セメント塗り
5回目	環境関連法②　【演習】屋上ビオトープ：土壌搬入
6回目	環境関連法③　【演習】屋上ビオトープ：田んぼ入水・代掻き
7回目	中間テスト　【演習】屋上ビオトープ：田植え・ジャガイモの収穫
8回目	中間テスト振り返り・ビオトープ論・環境関連法まとめ　【演習】ムギの収穫・ムギストロー作り
9回目	計画部門①　【演習】蜜源植物の定植
10回目	計画部門②　【演習】屋上看板作成
11回目	施工部門①　【演習】屋上緑化資材の比較実験
12回目	施工部門②　【演習】屋上虫宿作り
13回目	計画部門・施工部門まとめ　【演習】水生植物の定植（ビオトープ・トロ箱）
14回目	期末テスト　【演習】竹を使ったビオトープ工法・ツル植物用のアーチ作り
15回目	期末テスト振り返り・後期授業について　【演習】屋上環境分析比較・野菜の収穫
準備学習 時間外学習	ビオトープ試験の過去問題演習を行う。 または、それに準ずる試験などの課題を設定し取り組むこと。
評価方法	筆記試験:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

「ビオトープ管理士資格試験
公式テキスト」公益財団法人日本生態系協会監修

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	アグリテックⅡ （Agritech Ⅱ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	(株)マイファーム　八兒　美恵子
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

野菜の流通や経営の仕組みを学び、企業と一緒に実際にマルシェでの販売を行い、経営の視点を養う。また、地域と環境の問題をよく理解し、自ら考え実践できるよう地域に根差した企業や地域おこし協力隊と一緒に授業を行う。企業プロジェクトを見据えて、業界研究や有機市場とペットフードの関係について学ぶ。

※担当教員実務経験：福岡県飯塚市で有機農家として就農。アイガモ農法での稲作の経験有。生き物を大切にする農業を心がけ、農薬や化学肥料を一切使わない農業を行う。株式会社マイファームの技術講師として、糟屋郡新宮町で有機JAS認証イチジクや多品目野菜の圃場の管理も行う。

【到達目標】

マルシェの一連の流れや、流通の仕組みを理解する。社会とのかかわり方を学び、地域と環境の問題などを冷静に判断し自ら解決方法を考えることが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	後期オリエンテーション
2回目	流通概論
3回目	農家経営・半農半Xなど多様化する農業について
4回目	オーガニック市場とペットフード
5回目	狩猟とペットフード
6回目	マルシェ概論
7回目	マルシェ準備
8回目	福岡市みどりのまちマルシェ参加（11月25日）
9回目	行政・地域と環境問題
10回目	岡垣町「ブドウの木」にて地域と農業・企業とのつながりを学ぶ
11回目	地域おこし協力隊について
12回目	新宮町狩猟体験
13回目	最新農業技術
14回目	期末テスト
15回目	期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	視察先の事前学習・参加する前に疑問点などあぶり出しを行うこと。
評価方法	筆記試験60% 授業態度40%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

２０２１年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンピュータ演習 II （Computer Skills Practice II）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井　隆仁
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。
パソコンの実務的な使い方を学習していき、授業終了時には自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていく。

※担当教員実務経験：営業、Webディレクター。ブライダルサービス、PA、カフェなど様々な現場の運営の現場に従事。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。 タイピング練習をしてキーボードに慣れる。
2回目	画像加工：remove bgを使い画像加工をし、自由に使える様になる。
3回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができる様になる。
4回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができる様になる。
5回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができる様になる。仕上げ
6回目	PowerPoint課題：２人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施します。
7回目	動画編集：環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使える様になる。
8回目	動画編集：動画を使った動画作成、カット、文字入れができる様になる。書き出しできる様になる。
9回目	動画課題①：1分間の動画作成（テーマ：各自で決めてもらいます。）
10回目	動画上映会：各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	SNS（インスタ）への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
12回目	撮影練習：撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
13回目	動画課題②-1：1分間の動画作成（テーマ：動物紹介）今まで使った技を使い自由に動画作成
14回目	動画課題②-2：1分間の動画作成（テーマ：動物紹介）今まで使った技を使い自由に動画作成
15回目	動画上映会：各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ち、 そして自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をしてみて欲しい。
評価方法	授業内での傾聴力・発言力20%　・期末試験（作品評価）　80%

【使用教科書・教材・参考書】

データ配布

２０２１年度　シラバス

科目名 （英語表記）	コンピュータ演習 II （Computer Skills Practice II）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井　隆仁
		授業形態	演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日 3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。
パソコンの実務的な使い方を学習していき、授業終了時には自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていく。

※担当教員実務経験：営業、Webディレクター。ブライダルサービス、PA、カフェなど様々な現場の運営の現場に従事。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期復習：1分の動画作成
2回目	メール環境設定とビジネスメールの使い方
3回目	ホームページ作成：ペライチ環境設定、使い方の練習
4回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」
5回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」 前期で作った動画を挿入
6回目	ホームページ課題：テーマ「架空動物園を作成」 完成
7回目	ホームページ課題：どのような動物園を作ったのかプレゼン
8回目	動画応用：フリーズエフェクトの作り方
9回目	動画応用：効果音、ナレーション、BGMの効果的な作り方と使い方
10回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成①
11回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成②
12回目	動画応用課題：いままで学習してきた撮影、編集テクニックを使い2分の紹介動画を作成③
13回目	動画応用課題：上映会
14回目	Web3.0とは。SNSに代わる次世代のビジネス戦略
15回目	総復習と総括
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ち、 そして自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をしてみて欲しい。
評価方法	授業内での傾聴力・発言力20%　・期末試験（作品評価）　80%

【使用教科書・教材・参考書】

データ配布

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	マーケティング（ Marketing ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	中村　元洋
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	月曜日 1時限

【授業の学習内容】

マネジメントの概要と基礎を学ぶ。
1)リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる
2)判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる
3)課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる
4)計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる
5)目標管理力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる
6)顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる
7)調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる
8)組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる

※担当教員実務経験：2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。

【到達目標】

マネジメント（組織管理や運営）の基礎の習得。具体的には、以下の目標。
①あるべき姿と現場のギャップを的確に発見して、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる
②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：授業の進め方、自己紹介、なぜ、マネジメントの授業を行うのか？マネジメントの目的とは
2回目	マネジメント基礎知識：マネジメントの役割・マネジメントの社会での必要性・マネジメントとマネージャとリーダシップとは？
3回目	マネジメントの種類：様々なマネジメントを知る　事例研究など
4回目	マネジメントとリーダー：社会（企業）が求める「リーダー像」を確認 それぞれが思う、「自分がなりたいリーダー像」を確認
5回目	リーダーシップとは？：リーダーとリーダーシップの違いについて理解を深める
6回目	リーダーシップを発揮する要素：自分の中にある3つの要素を見つけ、その活かし方を学ぶ
7回目	効果的な意思表示：自己の感情表現タイプをチェックし、効果的な意思表示について学ぶ
8回目	アンガーマネジメント：感情についての理解を深め、アンガーマネジメント法の基礎を学ぶ
9回目	関わり方：「物事の進め方のタイプ」について理解を深める
10回目	チームマネジメント①：グループで関わることについての理解を深める
11回目	チームマネジメント②：会議・ミーティングについて学ぶ
12回目	リーダーシップとスポンサーシップ：信頼関係の構築する関わりについて学ぶ
13回目	全体発表：学んだこと・発見したこと・印象残ったことを通して、今後、どう活かしていくのか？考えをまとめ、発表する
14回目	試験：筆記テストと実技を実施し、これまでの学びの復習と理解度を図る
15回目	まとめ・振り返り
準備学習 時間外学習	時間外学習：提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。
評価方法	● 試　験　：　70点 ● 課　題　：　30点（課題提出状況）

【使用教科書・教材・参考書】

使用教材：講師作成資料
参考図書：「サクッとわかるビジネス教養 マネジメント」「アドラー関連書籍」など

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	マーケティング（ Marketing ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	中村　元洋
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	月曜日1時限

【授業の学習内容】

マネジメントの概要と基礎を学ぶ。
1)リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる
2)判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる
3)課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる
4)計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる
5)目標管理力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる
6)顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる
7)調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる
8)組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる

※担当教員実務経験：2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。

【到達目標】

マネジメント（組織管理や運営）の基礎の習得。具体的には、以下の目標。
①あるべき姿と現場のギャップを的確に発見して、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる
②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：前期で学んだことに関する振り返り、取り組みに関する感想のシェア、質問や事例対応、後期授業の説明
2回目	コーチングとは：コーチングについての基本的な知識
3回目	セルフコーチングとは：自身に行うコーチングについての基礎的知識
4回目	スタッフマネジメント：信頼関係のプロセス　信頼関係を築くスキル
5回目	傾聴とは？：傾聴の基本的な知識を学習
6回目	効果的な質問：質問への理解を深め、実践しながら質問の使い分けを身につける
7回目	効果的な言葉がけ：言語が与える影響について学ぶ
8回目	ケーススタディ～上司～：身近な人、考えられる人の対応について実践しながら学ぶ
9回目	ケーススタディ～部下～：身近な人、考えられる人の対応について実践しながら学ぶ
10回目	コーチング的目標設定：目標達成、コーチングの効果を高める
11回目	違う視点での目標設定：目標設定の別のやり方について学び、目標達成力をさらに高める
12回目	フューチャーペーシング：セルフコーチングを実施し、マインドマップ・未来予想図を作成する
13回目	全体発表：これまで学んだこと、今後の自身の展開予想を発表
14回目	試験：筆記テストと実技を実施し、これまでの学びの復習と理解度を図る
15回目	まとめ・振り返り
準備学習 時間外学習	時間外学習：提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。
評価方法	● 試　験　：　70点 ● 課　題　：　30点（課題提出状況）

【使用教科書・教材・参考書】

使用教材：講師作成資料
参考図書：「コーチングの基本」「コーチングが人を動かす」など

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	起業家学習 Ⅱ（Entrepreneurship Learning Ⅱ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日 2時限

【授業の学習内容】

地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力（アントレプレナーシップ）を培うための基礎講座。
起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、皆さんが今後どのような職業に就いても必要になる力である。この科目では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得ための人を巻き込むネットワーキング力などを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。また、コーチとして1年生と一緒に事業を推進する中でリーダーシップやチームマネジメント力を強化する。
※担当教員：アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。

【到達目標】

1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。
2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。
3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。

授業計画・内容	
1回目	1年次の振り返りとコーチングについて：コーチングとは何か、何のために行うのかを学び、2年生の役割を知る
2回目	ビジネスチャンスを見つける　：自分達の身近なところにある不便さを解決することがビジネスにつながることを事例を挙げて紹介し、学生が利用する製品やサービスにもそういうものがないか考えさせる。
3回目	チャンスをビジネスにする：自分達が気づいたビジネスチャンスを生かすためにどうするか考え、検討する上で必要なデータをどのように集めるか具体的な計画を書いてみる
4回目	調査・分析・フィールドワーク①：自分達の調査計画に則ってフィールド調査の準備をする（調査場所・ヒアリングする人・何を質問するか・調査情報はどのような形で分析するかなど）※1年生の中に入りアドバイス
5回目	調査・分析・フィールドワーク②：前回の調査データを分析し、自分達がこの授業で形にする事業アイデアを議論する
6回目	プロジェクト決定！！：チームで取り組む事業アイデアを決め、それを実現するために必要な作業をリストアップしスケジュールを立案する
7回目	競合他社の研究：自分達の事業アイデアと似たような事業をしているところを調べ、自分達の強み弱みなどを検討する（SWOT分析・ポジショニング分析）※1年生のSWOT分析サポート
8回目	事業の分析：前回学んだフレームワークを使い、自分達の事業を分析したうえで、互いに意見交換し事業内容を見直す※1年生の授業計画決めサポート
9回目	収支計画と資金調達：事業をするうえで必要な経費の計算をするとともに、事業をする上での資金調達について学ぶ(融資、補助金、助成金、協賛・寄付、クラウドファンディング等）※1年前の取り組み例を1年生に教える
10回目	マーケティングについて：ターゲット顧客の設定方法（セグメンテーション）・最近の消費者行動（AIDMA→AISAS）について学ぶ※1年前の取り組み例を1年生に教える
11回目	事業計画書の立案：今まで議論したことを事業計画書としてまとめる※1年生のサポート
12回目	プレゼン資料作成：事業計画書にもどついて、支援者に説明する資料を作成し、協力者を増やすプレゼンを学ぶ※資料のサンプルを見せサポート
13回目	ネットワーキング：事業を説明するプレゼン資料が出来たら、身近な人達に事業内容を聞いてもらい、いろんな意見を聞き、それを参考にさらに事業内容を改善する※1年性にプレゼンのフィードバックをする
14回目	協力者を見つける：改善した事業資料を持って、協力して欲しい企業等を訪問し、その結果を報告しあう
15回目	事業の実現に向けて：訪問企業の人達から得た助言を生かし、今後、どのように提案事業を実施していくかを計画し、発表しあう
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	1. 事前課題等の各種レポート　（50%） 2. 授業内発表　（30%） 3. 出席率　（20%）

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント、オンライン教材(ユースエンタープライズ)など

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	起業家学習 Ⅱ（Entrepreneurship Learning Ⅱ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	金曜日 2時限

【授業の学習内容】

地球環境と共存する事業を生み出せる人材の育成を目的とし、そのために必要な起業家的行動能力（アントレプレナーシップ）を培うための基礎講座。
起業家的行動能力とは、アイデアを生み出す想像力・創造力、また独創的な解決策を生み出し周りの人を巻き込みながら新しい事業を創出できる資質であり、皆さんが今後どのような職業に就いても必要になる力である。この科目では、この起業家的行動能力の基盤となる、常識を疑う視点、見出した課題の解決を持続可能な事業として形にする計画立案力、それを実行するための資金調達力、協力者を得ための人を巻き込むネットワーキング力などを培うための実践を行う。そして、それらの一連の活動を通して、各自が情熱を注げる事を見つけ恐れずにチャレンジする姿勢を養う。また、コーチとして1年生と一緒に事業を推進する中でリーダーシップやチームマネジメント力を強化する。
※担当教員：アメリカネバダ州立大学リノ校卒業。フィリピンの企業で勤務後、日本にて様々な新規事業の立ち上げに従事。

【到達目標】

1. 多様な視点で物事を見る力を身に付ける。
2. 恐れずにチャレンジする姿勢を身に付ける。
3. コーチとしてプロジェクトを推進することでチームマネジメントとリーダーシップを培う。

授業計画・内容	
1回目	資金調達を体験してみよう！：事業計画書で決めた方法で資金援助を頼む(頼みに行く)
2回目	試作を決める＆作る：「プレトタイプ」の手法を知る。各自考えてきた試作の発表とどのプレトタイピングを行うか決めて試す※1年生に事例を教える
3回目	試作のフィードバックと改良を行う：プレトタイプの結果をフィードバックし、良かったものの改良を行いプロトタイプを作る。
4回目	活動の発信と広報のやり方を知る：広報と発信方法について学び、ターゲット顧客に合わせた方法を決めて発信する※1年生に事例を教える
5回目	プロトタイプのお披露目：協力企業にもっていき、フィードバックをもらう。持ち帰って商品を作り始める
6回目	発表準備＆商品づくり：商品づくりを引き続き行う。PPTを使っての発表の仕方・見せ方を学ぶ※1年生に事例を教える
7回目	プロジェクトの進捗発表：協力者に向けて1年半取り組んできたことと進捗を発表する。
8回目	プロジェクトの準備①：プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する※1年生に事例を教える
9回目	プロジェクトの準備②：プロジェクト実施に必要な機材や看板などを手配・作成する
10回目	プロジェクトの準備最終確認、データまとめの仕方を学ぶ：顧客データがなぜ必要か、データの収集の仕方、PPT上での表現の仕方を学ぶ※1年生に事例を教える
11回目	プロジェクトの実施①：現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
12回目	プロジェクトの実施②：現地でプロジェクトを実施する(データを集めてまとめる)
13回目	プロジェクトの結果まとめと発表準備：事業計画に沿って収支をまとめ、結果を総括する
14回目	プロジェクトの成果発表と第三者評価：協力者に向けてプロジェクトの結果を発表し、フィードバックをもらう
15回目	1年間の振り返りと総括：1年間で学んできたことの復習と各自の成長を認識する※1年生へ一言
準備学習 時間外学習	1. 事前課題など各種レポートを書く。 2. 授業資料に目を通すこと。
評価方法	1. 事前課題等の各種レポート　（50%） 2. 授業内発表　（30%） 3. 出席率　（20%）

【使用教科書・教材・参考書】

オンライン教材(ユースエンタープライズ)など

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	フィールドワーク演習 Ⅱ （Fieldwork Excercises Ⅱ）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大橋　光雄
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

自然体験活動と野外教育の企画運営　マネジメント（management）プログラム（program）を立案しながら学ぶ。
四季折々の体験活動を体得しながらアクティビティ（activity）シートに記録しながら学びへとつなげていく。

※担当教員実務経験：福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。（公益社）日本キャンプ協会　元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

自分たちで企画から運営振り返りを学ぶ。
自然体験活動の指導者の資格を目指す。

授業計画・内容	
1回目	自然体験活動123　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク演習準備学
2回目	自然体験活動123　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク演習準備学
3回目	自然体験活動123　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク施設を使って
4回目	自然体験活動124　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク施設を使って（演習林）
5回目	自然体験活動123　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク山編（ハイキング）
6回目	自然体験活動123　アクティビティ（activity）の研究　フィールドワーク山編（登山）
7回目	自然体験活動　プログラム立案　（発想法）
8回目	自然体験活動　プログラム立案　（企画～実施）
9回目	自然体験活動　プログラム立案　（運営全般）
10回目	自然体験活動　フィールドワーク演習1　自然体験活動系　ツアー
11回目	自然体験活動　フィールドワーク演習2　環境系　　ツアー
12回目	自然体験活動　フィールドワーク演習3　冒険系　　ツアー
13回目	自然体験活動　フィールドワーク演習4　アクティビティ系　　ツアー
14回目	自然体験活動　フィールドワーク演習5　パケージ系　　ツアー
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	自然体験活動やアウトドアでの企画されているツアーや体験会などの情報を集め分析すること。
評価方法	筆記試験:50%　（ミニテストも含む） 実技試験:50%　（授業内での実技のテストも含む）

【使用教科書・教材・参考書】

（公益社）日本キャンプ協会　[キャンプ指導者入門）
オリジナルプリント

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	フィールドワーク演習 II （Fieldwork Excercises II）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高濱　淳、高濱　香
		授業形態	演習	総時間 （単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

心停止等生命にかかわる緊急時のケアーを大人・小児・乳児の人形、AED、酸素呼吸システムを使ってスキルを身に付けたり、即座に生命に関わらない怪我や病気の人に包帯の巻き方や脈の測り方、ロープワーク、緊急事態対応計画作成、水中ドローン、コンパス等の技術を駆使し実地演習、河川や海岸のごみ調査を行う。

※担当教員実務経験：PADIコースディレクターであり、ダイビングショップ『DIVE ESUCH』代表。
PADIスクーバインストラクター、PADIコースディレクター、潜水作業に従事。フィリピン　ボラカイ島のダイビングリゾートにも勤務歴がある。

【到達目標】

PADI　EFR（エマージェンシィーレスポンダー）資格取得を目指し、陸や海での緊急事態に素早く対処出来る様になる。
実際のフィールドに合わせて救助計画を作成したり、コンパスや水中ドローンを使用し捜索活動の方法、河川や海岸でのゴミ調査の方法を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	オーリエンテーション/アンケート/資格案内/知識の予習
2回目	ハザードマップ作製
3回目	ハザードマップ作製
4回目	河川や海岸のゴミの調査
5回目	河川や海岸のゴミの調査
6回目	河川や海岸のゴミの調査報告書作成　中間評価
7回目	河川や海岸のゴミの調査報告書作成　中間評価
8回目	海岸域での捜索実習
9回目	海岸域での捜索実習
10回目	一次ケアー　現場の評価・バリアの使い方、回復体位、CPRとレスキュー呼吸（大人と子供）
11回目	一次ケアー　AEDの使用方法、酸素呼吸装置の使用方法
12回目	一次ケアー　ショックの管理、脊髄損傷の管理、気道閉塞の対応、怪我や病気の評価
13回目	二次ケアー　包帯、副木、三角巾の使用方法、ロープワーク
14回目	EFR期末評価と振り返り
15回目	EFR期末評価と振り返り
準備学習 時間外学習	緊急事態の時に、素早く対応出来る様に、PADI　EFR　テキストを使いスキルの復習が必要。
評価方法	筆記試験　40%　実技評価　40%　出席評価　20%

【使用教科書・教材・参考書】

PADI　EFRテキスト、EFR　DVD、水中ドローン、コンパス

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	グリーンツーリズムⅡ (Green Tourism Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	一般社団法人九州のムラ　養父　信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

1年次に学んだことを基礎にし、各個人毎の将来就きたい仕事につながる授業内容（個別指導）及び実地研修を組み込む。

※担当教員実務経験：一般社団法人九州のムラの代表理事。また「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任。
九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。
宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても従事。

【到達目標】

将来就きたい仕事についてある程度イメージできる状態になっている。
講師以外にそのことについて相談できる第三者のネットワークが構築できている。

授業計画・内容	
1回目	グリーンツーリズムを学ぶ。グリーンツーリズム概論
2回目	先進地域　イタリアのガルロッソに学ぶアグリツーリズムビジネス
3回目	ムラ暮らしインターンから半農半Xについて学ぶ
4回目	ムラ暮らしインターンから新規就農について学ぶ
5回目	宗像国際環境会議の取り組みからSDGを学ぶ
6回目	地域おこし協力隊について学ぶ（壱岐・対馬などの事例）
7回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
8回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
9回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
10回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
11回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
12回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
13回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
14回目	2泊3日　実地研修（環境学習、生態調査、地域での起業モデル研修など）
15回目	前期テスト（レポート）課題提出＆返却
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行うこと。
評価方法	レポート評価:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

雑誌「九州のムラ」、九州のムラHP、宗像国際環境会議HP、総務省「地域おこし協力隊」制度　HP他

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	グリーンツーリズムⅡ (Green Tourism Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	一般社団法人九州のムラ　養父　信夫
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日 1・2時限

【授業の学習内容】

実際に地域に2週間研修として入り、「グリーンツーリズムとは何か」「地域での農村ビジネスの可能性」「地域おこし協力隊として仕事をするとはどういうことか」などを学ぶ。

※担当教員実務経験：一般社団法人九州のムラの代表理事。また「NipponノMURA」編集長、九州グリーンツーリズム研究会会長も兼任。
九州全土のムラとマチの良さを発見し、官公庁とも連携しながら地域に新たな生業を創出するために尽力。
宗像国際環境会議実行委員会の事務局長としても従事。

【到達目標】

将来的に自分が就きたい仕事についてイメージが前期より明確になっている状態を作る。

授業計画・内容	
1回目	実地研修に向けての準備ワークショップ
2回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
3回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
4回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
5回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
6回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
7回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
8回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
9回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
10回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
11回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
12回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
13回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
14回目	13泊14日　実地研修（ムラ暮らしインターンとして九州内の地域に研修）
15回目	後期テスト（レポート）課題提出、回収
準備学習 時間外学習	適宜指示に従って予習復習を行うこと。
評価方法	レポート評価:60% 授業態度:40%

【使用教科書・教材・参考書】

「阿蘇遺産」「九州のムラ」他

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅱ (Marine Activity Ⅱ)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩　辰則(オムニバス形式)
		授業形態	演習	総時間(単位)	60	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(4)	曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

①自然をフィールドにした環境活動を学ぶ。
②安全に活動を行うためのスキルを身につける。
③インタープリターとして必要なリーダーシップを身につける。
④社会に向けて啓発活動を行う。
⑤環境活動分野において活躍している方々に接し、理解を深める。

※担当教員実務経験：水族館や青少年自然の家、青少年海の家を運営している企業・団体の実務経験者や、河川環境保全モニターとして審議・現場指導、河川環境教育を行っている実務経験者を招聘し、オムニバス形式で演習を行う。

【到達目標】

海洋環境における福岡の海の現状やそれを取り巻く社会課題について学び、解決する方法を考える。
また、リーダーシップ論や、インタープリターとしての心得を学び、安全かつ建設的なフィールドワークの実行スキルを習得するとともに、本授業によって得た知識や経験を他者へ「伝える」ことを通して、自身の持つ事実情報や考えを表現する能力を養う。

授業計画・内容	
1回目	門司少年自然の家宿泊演習
2回目	門司少年自然の家宿泊演習
3回目	門司少年自然の家宿泊演習
4回目	門司少年自然の家宿泊演習
5回目	渕上先生河川生体調査
6回目	マリンワールド　生体調査①
7回目	マリンワールド　生体調査①
8回目	マリンワールド　生体調査②
9回目	マリンワールド　生体調査②
10回目	海の中道青少年海の家　事前研修
11回目	海の中道青少年海の家　事前研修
12回目	海の中道青少年海の家　事前研修
13回目	海の中道青少年海の家　事前研修
14回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習①
15回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習①
準備学習 時間外学習	研修施設や課外活動内容について事前学習を行うこと。
評価方法	■授業参加率：80% ■レポート：20%

【使用教科書・教材・参考書】

パワーポイントまたはkeynote、自然観察に必要な図鑑・論文等

２０２３年度　シラバス

科目名 (英語表記)	海洋活動Ⅱ (Marine Activity Ⅱ)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩　辰則(オムニバス形式)
		授業形態	演習	総時間(単位)	60	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(4)	曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

①自然をフィールドにした環境活動を学ぶ。
②安全に活動を行うためのスキルを身につける。
③インタープリターとして必要なリーダーシップを身につける。
④社会に向けて啓発活動を行う。
⑤環境活動分野において活躍している方々に接し、理解を深める。

※担当教員実務経験：水族館や青少年自然の家、青少年海の家を運営している企業・団体の実務経験者や、河川環境保全モニターとして審議・現場指導、河川環境教育を行っている実務経験者を招聘し、オムニバス形式で演習を行う。

【到達目標】

海洋活動について、学生自身が継続して考え取り組み、他者に伝える場づくりを行う。「伝える」場においては、多様な年代や立場の人に向けて伝える内容をデザインするとともに、「伝わる」ための表現能力を養う。
上記を通じて、インタープリターとしての伝える喜びや、活動の広がりを学生自身が実感する。

授業計画・内容	
1回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
2回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
3回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
4回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修①
5回目	マリンワールド　生体調査③
6回目	マリンワールド　生体調査③
7回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習②
8回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習②
9回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
10回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
11回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
12回目	海の中道青少年海の家　宿泊研修②
13回目	マリンワールド　生体調査④
14回目	マリンワールド　生体調査④
15回目	海の中道青少年海の家　キャンプ演習③
準備学習 時間外学習	研修施設や課外活動内容について事前学習を行うこと。
評価方法	■授業参加率：80% ■レポート：20%

【使用教科書・教材・参考書】

パワーポイントまたはkeynote、自然観察に必要な図鑑・論文等

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	インタープリテーション （Interpretation Study）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	特定非営利活動法人ピッキオ
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

ネイチャーガイドや動物園・水族館のスタッフは、自然環境とそこに棲む生物や地域特性について、お客様に楽しみながら理解してもらうことが重要。そのためにはまったく興味が無い人から関心が高い人まで、お客様のニーズにあった解説テクニックが必要。本授業では、まず解説者本人がインタープリテーションへの理解を深め、より多くの人に楽しんでもらえる解説方法を実践的に学ぶ。

※担当教員実務経験：一般の方々を中心に心躍る動植物との出会いをサポートし、そのおもしろさや不思議さにふれるネイチャーツアーを開催している団体の従事者より指導頂く。

【到達目標】

対象地域の自然環境や地域特性について分析できるようになる。
お客様のニーズに合わせたガイド内容を企画することができるようになる。
想定外の事態にも臨機応変に対応できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	インタープリテーションとは(定義と原則)について理解する。
2回目	インタープリターの役割
3回目	参加者の特徴とニーズ
4回目	インタープリテーション体験I
5回目	テーマの選び方・分析方法【練習】
6回目	プログラムの作成方法【練習】
7回目	プログラム内容の作成・調査方法【練習】
8回目	安全管理・対処方法
9回目	インタープリテーション体験II
10回目	インタープリテーション体験II
11回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
12回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
13回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
14回目	ツアー実践
15回目	ツアー評価と振り返り
準備学習 時間外学習	授業中に適宜課題を与える。 発表内容は多くは授業外で準備すること。
評価方法	実技試験(プレゼンテーション)　40% 出席率　40% 授業態度　20%

【使用教科書・教材・参考書】

インタープリテーション入門/小学館

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	インタープリテーション（Interpretation Study）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	特定非営利活動法人ピッキオ
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(2)	曜日・時限	集中講義

【授業の学習内容】

ネイチャーガイドや動物園・水族館のスタッフは、自然環境とそこに棲む生物や地域特性について、お客様に楽しみながら理解してもらうことが重要です。そのためには、まったく興味が無い人から関心が高い人まで、お客様のニーズにあった解説テクニックが必要です。本授業では、まず解説者本人がインタープリテーションへの理解を深め、より多くの人に楽しんでもらえる解説方法を実践的に学びます。

※担当教員実務経験：一般の方々を中心に心躍る動植物との出会いをサポートし、そのおもしろさや不思議さにふれるネイチャーツアーを開催している団体の従事者より指導頂く。

【到達目標】

対象地域の自然環境や地域特性について分析できるようになる。
お客様のニーズに合わせたガイド内容を企画することができるようになる。
想定外の事態にも臨機応変に対応できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期振り返り
2回目	インタープリテーション体験III
3回目	インタープリテーション体験III
4回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
5回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
6回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
7回目	ツアー実践
8回目	ツアー評価と振り返り
9回目	インタープリテーション体験IV
10回目	インタープリテーション体験IV
11回目	テーマの選び方・分析方法【実践】
12回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
13回目	プログラム内容の作成・調査【実践】
14回目	ツアー実践
15回目	ツアー評価と振り返り
準備学習 時間外学習	授業中に適宜課題を与える。 発表内容は多くは授業外で準備すること。
評価方法	実技試験(プレゼンテーション)　40% 出席率　40% 授業態度　20%

【使用教科書・教材・参考書】

インタープリテーション入門/小学館

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	進級課題 (Level Advancement Study)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	赤岩　辰則
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果（知識・技術）をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授業計画・内容	
1回目	進級課題とは①　～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは②　～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方　～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定　～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習①　～自分（班）のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習②　～途中経過の報告～
7回目	実践学習③　～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備①　～パワーポイント作成～
9回目	発表準備②　～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③　～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④　～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤　～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り　～各自（班内）で意見交換、発表～
準備学習時間外学習	各自（各班）で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容：80% ・課題への参加度：20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	業界研修	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	（ Business internship ）	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		（6）	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
・自らの「キャリア」をデザインできる。

授業計画・内容	
1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表（20%） これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	特別講義＆見学（Special Lecture）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （Global Communivcation）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	90 (6)	開講区分	前期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、木曜日1-3時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話すことができる。
ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、
また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントに
ついて話すことができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。
店内で欲しいものについて述べることができる。新しい商品の説明を読む、またVlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書くことができる。

授業計画・内容			
1回目	所有代名詞(whose)を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなメールを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	習慣・ルーティンについて質問する。[Wh-question]を練習する	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	繰り返しを求める表現を学ぶ。意思疎通に問題があったことを説明する	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
6回目	「現在進行形」「単純現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ。将来のプランについて話す	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	招待する、招待に応える表現を学ぶ。招待を断る理由を説明する	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶについて」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[be going to]を復習する買い物に行くことについて会話する	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	店内で欲しいものについて述べる。物事の言い方を英語で聞く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	実技試験50% 授業態度50%		

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	グローバルコミュニケーション （Global Communivcation）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 （単位）	90 (6)	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限、水曜日4時限、木曜日1-3時限、金曜日1・3時限

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、
また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。
提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べることができる。
広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。
したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。
天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授業計画・内容			
1回目	キッチンカーをデザインする「動詞型」を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
2回目	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	オンデマンド	対面授業と連動
3回目	[if / when]の使い方を学ぶ。自分の町で何をするかについて話す	オンデマンド	対面授業と連動
4回目	「問い返し疑問文」を学ぶ。提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	オンデマンド	対面授業と連動
6回目	「形容詞の最高級」を学ぶ。写真に写った人について話す	オンデマンド	対面授業と連動
7回目	広告を読む、また写真の説明を書く	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[have to]の使い方を学ぶ。職場での危険を回避することについて話す	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	[It feels like (it's like)]を使い、健康問題について話す；健康問題についてアドレスをもらう	オンデマンド	対面授業と連動
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画し、発表する」	オンデマンド	対面授業と連動
11回目	ソーシャルメディア（ネット）生まれの動詞を学ぶ	オンデマンド	対面授業と連動
12回目	インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書く	オンデマンド	対面授業と連動
13回目	[be like]を使い、天気について話す	オンデマンド	対面授業と連動
14回目	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ。言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。
評価方法	実技試験50% 授業態度50%

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	海外実学研修	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	現地各施設実務従事者
	（Overseas Practical Training）	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		（ 4 ）	曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。

※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。
・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。
・世界における日本の立場を理解する。
・自身のキャリアをデザインする。

授業計画・内容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の海外実学研修ノート

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	イベント運営 （Event Management）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・企画立案、運営ができるようになる。
・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
・接客を知り、実践できるようになる。
・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
・予算管理を実践し習得する。
・スケジューリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容	
1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備（50%） ・レポート(50%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	特別課外活動 （Club Activities）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

・チームワークを身に付ける。
・計画性を身に付ける。
・予算管理を身に付ける。
・マネジメントを理解し身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

２０２３年度　シラバス

科目名 （英語表記）	ボランティア活動 （Volunteer Work）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

２０２３年度　シラバス

科目名（英語表記）	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	後藤　博美
		授業形態	演習	総時間（単位）	15	開講区分	随時
専攻名	グリーンライフ・アドベンチャー専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授業計画・内容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格（100%）

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本